

2018年度 経営学部卒業時アンケート

調査対象：2018年度3月卒業生 469名

調査実施日：2019年3月23日（学位記授与時に実施）

回答数：299件

回答率：63.7%

設問1

東京経済大学は入学を希望していた大学でしたか？

1.そう思う	106
2.どちらかといえばそう思う	129
3.どちらかといえばそう思わない	38
4.そう思わない	26
計	299



設問2

経営学部は希望していた学部でしたか？

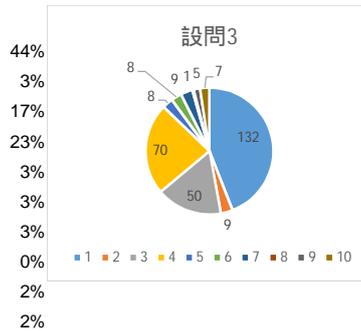
1.そう思う	239
2.どちらかといえばそう思う	51
3.どちらかといえばそう思わない	5
4.そう思わない	4
計	299



設問3

あなたが入学を決めた際の入試種別を教えてください

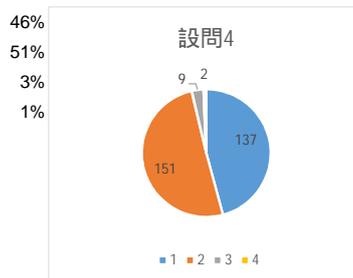
1.一般入試（前期）	132
2.一般入試（後期）	9
3.センター利用入試（前期）	50
5.指定校推薦入試	70
6.経営学部簿記資格取得者入試	8
8.資格取得者入試	8
9.スポーツ実績者・スポーツ特別入試	9
10.スカラシップ入試	1
11.指定日本語・外国人留学生入試	5
12.3年次編入学入試（指定・一般）	7
計	299



設問4

学部の専門分野【経営・経営情報・会計・流通・マーケティング】に関わる教育

1.満足	137
2.どちらかといえば満足	151
3.どちらかといえば不満	9
4.不満	2
計	299



設問6

総合教育科目に関わる教育

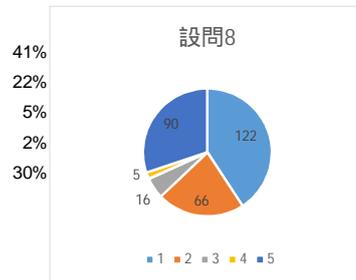
1.満足	138
2.どちらかといえば満足	151
3.どちらかといえば不満	9
4.不満	1
計	299



設問 8

ゼミに関わる教育

1.満足	122
2.どちらかといえば満足	66
3.どちらかといえば不満	16
4.不満	5
5.未所属	90
計	299



設問10

カリキュラム全体について

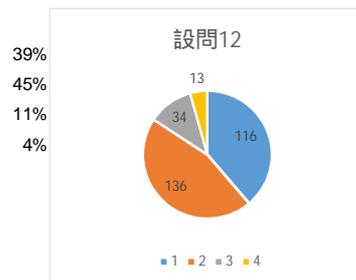
1.満足	116
2.どちらかといえば満足	174
3.どちらかといえば不満	7
4.不満	2
計	299



設問12

就職活動支援

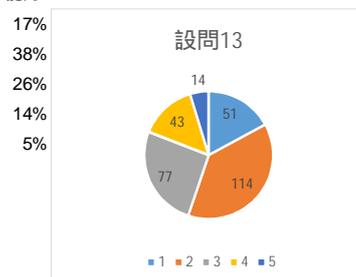
1.満足	116
2.どちらかといえば満足	136
3.どちらかといえば不満	34
4.不満	13
計	299



設問13

幅広い教養と外国語に関する基本的な知識・能力

1.かなり身についた	51
2.ある程度身についた	114
3.どちらともいえない	77
4.あまり身につかなかった	43
5.全く身につかなかった	14
計	299



設問15

経営学・経営情報学・会計学・流通・マーケティングに関する専門知識

1.かなり身についた	87
2.ある程度身についた	168
3.どちらともいえない	31
4.あまり身につかなかった	10
5.全く身につかなかった	3
計	299

29%  
56%  
10%  
3%  
1%



設問17

現代社会にあるいは学術研究分野における諸問題を発見・分析・解決する実践的な知識・能力

1.かなり身についた	66
2.ある程度身についた	152
3.どちらともいえない	58
4.あまり身につかなかった	20
5.全く身につかなかった	3
計	299

22%  
51%  
19%  
7%  
1%



設問18

入学前と比較して、東京経済大学は良い大学だという思いは強まりましたか

1.そう思う	128
2.どちらかというと思う	145
3.どちらかというと思わない	18
4.そう思わない	8
計	299

43%  
48%  
6%  
3%



## 【分析】

本学を志望していた学生は78%であり、構成比として不本意入学者は2割程度であり、志望学部への進学者も8割程度であることから、比較的志望通りに大学進学してきた学生が多い。志望していた学部への進学を果たした学生であることも背景要因としては考えられるが、専門分野科目及び総合教育科目への満足度はいずれも極めて高く、「満足」と回答した学生が46%、「どちらかと言えば満足」と回答した学生が51%という結果になっている。その一方で、ゼミする東経大を標榜する本学の大きな訴求ともなっているゼミ教育については、回答者の30%が未所属であるため、所属していた学生に限定したとき、「満足」が58%であり、「どちらかと言えば満足」が32%となっている。最上位評価の比率が6割近くにまで及んでいるのに対して、所属学生の10%が「不満」あるいは「どちらかと言えば不満」と回答している点は今後の取組課題と言える。また、未所属の30%がアドバンスト・プログラム所属生なのかゼミ不合格者なのかにもよるが、ゼミ所属率の向上は共通課題と言えそうである。概括的に見れば、ゼミ所属者の大半の学生の満足度は高いことは評価できる。

就職活動支援について、「満足」が39%、「どちらかと言えば満足」が45%となっており、高い満足度だと評価できる。しかし、本学の就職活動支援は高校教員などから高い評価を得ていることを考えると、「満足」という回答者よりも「どちらかと言えば満足」という回答者の方が多い点は今後の機能強化を検討する必要がある結果とも考えられる。

つづいて、DP1に掲げている広い教養と外国語についての達成度については、「身についた」の17%、「ある程度身についた」の38%という結果は大きな課題として捉えなければならない。これに対して、専門領域における知識習得については、それぞれ「身についた」の29%、「ある程度身についた」の56%という結果になっている。実践的な知識・能力の達成度についての「身についた」の22%、「ある程度身についた」の51%という結果とともに十分な成果があったと評価できる。引き続き、これらのDP2及びDP3の達成度の追求は教育力の強化に取り組んでいくべきミッションである。

最後の設問が、入学前と比較して東京経済大学はよい大学だという思いは強まったかどうかという質問に対して、「そう思う」が43%、「どちらかと言えばそう思う」が48%となっており、合計91%の学生にとって満足度が高い結果となっている。

卒業時アンケート調査の概括的考察としては、満足度及び達成度に関する卒業時の意識としては、極めて高い評価が得られていると言える。若干の課題があるとしたら、教養と外国語に関する達成度であるが、これらの授業満足度は高く、入学前の目的意識の設定が影響していると考えられる。今後は、入学直後の1年生にDP1に関する必要性を伝えて、教養と外国語の習得に関する目的意識を刺激して、様々な教育機会を提供していくことが必要になると考えられる。